



ダンスを通じて 地域に貢献

No.17



陣場在住。大学時代よりダンスを始め、ジャズダンスを中心に、プロダンサーとして活躍。吉岡町在住後は、「地域を大切に」をキーワードに、日々まい進している馬場さんにお話を伺いました。

馬場 晴美 さん

「今、家族の結束が強まっていることがうれしい。家族あつてのわたしです。」と語る馬場さん。昨年12月に、親子で参加するテレビ番組のダンス選手権に出場し、見事優勝しました。結果はもとより、家族がひとつになれたことが大変嬉しかったそうです。小柄な体格の馬場さんですが、ダンスにかかわる活動のほか、今年度子育て連会長に就任しました。ダンスを通じて、「こういう家族がいます。踊れるだけでなく、人間的に成長している。地域を盛り上げていこう。」というメッセージを発信しています。

また、昨年度「吉岡ふるさとまつり」に区の代表として参加したときの指導の経験を「ダンスと子供達」と題して、ぐんま教育賞に応募したところ、奨励賞を受賞しました。その模様は、まず大きな声で挨拶をする指導から始まります。そして、元気の無かった子供たちも、しっかりと挨拶ができるようになる、心もオープンになり、ダンスの練習も形になっていきました。発表当日は、みな力一杯のダンスを披露し、満足感が得られました。と同時に馬場さんも達成感でいっぱいになり、改めて子供たちに声をかけることの大切さを痛感したそうです。

また毎週水曜日には、コミュニケーションセンターで、ボランティアとしてダンスを教えています。ジャズや、ロック、タップダンスなど何でもこなす馬場さんですが、ここではヒップ・ホップといわれるダンスを取り上げています。「音ののって、自由に動く、ストリート系」のヒップ・ホップは、小さな子供たちにもぴったりのダンスです。薫英荘への慰問も行っており、子供たちは様々なことを吸収できる場となっています。

「まだまだ、活動の場を広げていきたい。地域に貢献したい。」と語る馬場さんは、とても魅力的でした。

わが家の愛ドル



篠原 希紗良 くん 平成14年5月19日生まれ
来玲愛 ちゃん 平成16年11月3日生まれ

•メッセージ
これからも元気に仲良く遊んでね!!

敬之さん 理英さんの長男・長女（第10区）



新樹土曜会

文芸よしおか

菜の花や夕日の中に我一人 岸 和代
初神楽面の眼のやはらかく 須川 良子
座禅草都の水は馴染めずに 須田 紀子
水中に茎ぼんやりと葦の角 萩原 肇